

## 輸入粗飼料の情勢

全 酪 連  
購 買 生 産 指 導 部  
購 買 推 進 課

### 北米コンテナ船情勢

アジア諸国から北米向けの貨物量は依然として高水準で推移しており、海上運賃も歴史的な高値が続いています。このため各船社アジア向けに空コンテナを手配する動きは顕著です。実際に北米発アジア向け本船においては、輸出貨物向けの船腹を減少させ、その分空コンテナ回漕に割り当てを増加させ本船を運航する動きも出ています。この影響で以前に比べ北米発輸出向けの船腹予約の取得が難しくなっています。

また北米においては輸入貨物が増加していることから、窓口である各港ターミナルにおいて混雑が生じています。特に米国の貿易要であるロサンゼルス港、ロングビーチ港の混雑状況は深刻です。これは増加する輸入貨物量に対してターミナルの荷役作業員及び、コンテナの保管スペースが不足しており、貨物の輸入量が各ターミナルの収容許容量を超え始めているためです。この結果、通常以上に本船荷役に時間を要しており予定通りのスケジュールに寄港できずに沖合で滞船する本船が増加しており、本船スケジュールに遅延が出ています。加えてターミナルにおいてコンテナ保管スペースが不足していることから、ターミナルへのコンテナ搬入受付期間が通常より大幅に短縮され、各輸出業者のトラックの手配が困難となり期日までにコンテナを持ち込むことができず予定していた本船への積載ができなかったというケースも増えています。

輸出用本船の船腹も空コンテナの回漕で逼迫していることから、船社によっては12月に北米発日本向けの輸出貨物に対する GRI（海上運賃一斉値上げ）を実施しており、輸入乾牧草のコストを押し上げています。

### ビートパルプ

【米国】

20年産のビートの収穫は終了しています。秋口から乾燥した天候が続いたため、糖度の含有量はここ数年で最も高い値となっています。一方、各産地の生産量は早魃と褐斑病の影響で当初予測されていた数字には届かないものの、前年を上回る見込みとなっています。

## アルファルファ

### ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンでは、20年産の1番刈は収穫期における断続的な降雨の影響で、多くの雨当たりの被害を受け良品の発生は限定的でした。2番刈、3番刈は一転し好天に恵まれたため色目の仕上がりは綺麗なものとなっています。一方品質面は収穫時期に気温が高く、ベーリング時に夜露が十分に発生しなかったため、ドライな仕上がり品の品質が多く発生しています。4番刈は、西海岸の広域で発生した山火事の影響で、太陽光を煙で遮られたため、通常以上に乾燥に時間を要したため、ブリーチが多く混入した品質となりました。

### オレゴン州

オレゴン州南部クラマスフォールズ、および同州中部クリスマスバレーでは、一部で雨当たりの被害が発生したものの1番刈から3番刈まで例年並みに上級品が発生しています。産地相場は西海岸において高成分な上級品の発生が少なかったこともあり、輸出業者と内需による旺盛な引き合いから、高値で推移しています。

### カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、一部の圃場で収穫を残し20年産の収穫をほぼ終わっています。産地では気温が低下していることから、一部で高成分品も発生しています。

## 米国産チモシー

20年産の1番刈は主産地であるワシントン州コロンビアベースンとキティタスバレーで収穫期の天候不良により、上級品の発生は限定的となりました。20年産は作付面積が減少しましたが、19年産からの上級品の繰り越し在庫もなかったことから、上級品の価格は高騰しています。20年産は上級品と中級品以下の価格差が例年よりも大きくなっています。

## スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは20年産の収穫が終了しています。豪州産オーツハイの不作を受け日本からの引き合いは強くなっていますが、20年産は上級品の発生が少なかったことや、低級品においても、産地の干ばつの影響で自給飼料が不足している肥育牛生産者からの引き合いが旺盛なため、現在追加で買付できるものは限定的となっています。

## クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

20年産1番刈は収穫前の多雨で雑草混入が多く発生したため輸出向けに出荷可能な品質の発生は限定的となりました。

生産者によってはシーズンを通し6番刈まで収穫できており、全体としては多くの良品が発生した年となりました。高温多湿な天候が続いた夏場から秋口以降に収穫されたものの一部で、茎が固く、湿度により発生したブリーチが混じった低級品が発生しましたが、これらは韓国を中心に出荷されています。

## ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

20年産は収穫期の天候に恵まれたため、不作であった19年産とは一転しペレニアル種、アニュアル種のライグラスストロー、フェスキューストローともに良品が発生しています。一方で各輸出業者、19年産からの繰り越し在庫がなかったため、在庫を補填するために旺盛な買い付けが行われており、産地相場は堅調です。

## カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州南部レスブリッジでは20年産の収穫を終えています。20年産の1番刈の作況は地域によって異なり、アルバータ州南部レスブリッジでは、雨当たり被害は少なく上級品が発生したものの、茶葉の混入が多く、大半は中級品となりました。同州中部のクレモナでは70%で降雨被害を避けることができたため、良品の発生が期待されていましたが、茶葉の混入が多く中級品以下の発生がほとんどとなりました。

## 豪州産オーツハイ

### 西豪州

20年産の西豪州は例年より1～2週間早い9月中旬から収穫が開始されました。収穫期の天候に恵まれ、上級品と中級品の発生が中心となっています。見た目もきれいな緑目で茶葉も少ない印象です。収量はヘクタールあたり4トン～5トンとなっています。20年産における上級品の出荷は西豪州中心となります。

### 南豪州

生育期において適度に降雨があり、十分な土壌水分を含んだなか生育したため、収穫前までは豊作が期待されていました。しかしながら収穫時に断続的な降雨に見舞われたため、雨当たり品が多く発生しています。南豪州での20年産は上級品、中級品の発生は非常に限定的となっています。単収はヘクタール当たり5トンと見込まれています。

## 東豪州

南豪州と同様、産地は収穫期に断続的な降雨に見舞われたため、多くの雨当たり品が発生しています。一部雨当たり被害を逃れることができたオーツハイも収穫できましたが、それらは天候の回復を待ったため、適期に収穫ができず刈遅れ気味で分析値は低い傾向にあります。東豪州産の20年産は上級品、中級品の発生が非常に限定的で低級品が中心となっています。輸出業者によっては19年産の繰り越し在庫を持っており、上級品は19年産から出荷する見込みです。東産の単収は地域によってばらつきがあり、ヘクタールあたり4.5～7トンとなっています。

## 豪州コンテナ船情勢

豪州でも北米同様、コンテナ本船スケジュールに大幅な遅延が生じています。この遅延の主要因は2つあり、1つ目は豪州港湾ターミナル大手パトリック社と東豪州港湾労働者組合の間で引き続き行われている労使交渉です。2つ目は北米同様、中国への空コンテナ回漕が輸出貨物の船積みよりも優先され行われていることです。

労使交渉は12月1日に最終合意を目指していましたが、依然最終合意には至らず、現在も協議は続いています。以前のように港湾労働者側による作業停止や荷役の遅延行為はなくなりましたが、東豪州の港ではこれまで蓄積した貨物による混雑が解消できていないため、荷役作業が捗らず本船は当初予定していたスケジュールよりも大幅に遅れ出港しています。

また前述の通り、アジア、北米間の運賃が好調であり、空コンテナがアジアで不足しているため、豪州にある空コンテナも同様、豪州発の輸出貨物より優先し中国に回漕されています。一部の船社では豪州発日本及び台湾向けなどの輸出向けの船腹予約の受付を一時的に停止することを発表しています。豪州も船のスケジュールが混乱しているため、今後も注視が必要です。

以 上